



8月14日の臨時会終了後、「MV-22オスプレイの普天間飛行場への配備及び米軍ヘリ墜落事故に対する抗議決議」について、在沖米国総領事館及び沖縄防衛局へ抗議・要請を行いました。

ぎのわん 第88号 市議会だより

宜野湾市議会

宜野湾市野嵩一丁目1番1号
電話 (098)893-4411(内337)
印刷 有限会社ダイヤプリント



台湾の員林鎮を訪問した市議会台湾友好議員連盟(平成25年7月31日)

【定例会の経過】

6月	5日	議会運営委員会
	7日	会期の決定、案件上程、説明 基地関係特別委員会
	11日	上程案件に対する質疑、 委員会付託 基地関係特別委員会
	12日	議会運営委員会
	12日、13日	常任委員会議案審査
	17日～21日	一般質問(質問者20名)
	18日	基地関係特別委員会
	19日	議会運営委員会
	21日	議会運営委員会
	24日	各常任委員会の審査報告及び表決

**「水と緑のまちづくり基金条例を
廃止する条例」を賛成多数で可決!!
(反対7名)**

6月 定例会

会 期
6月7日～6月24日

第377回宜野湾市議会定例会は、6月7日から6月24日までの18日間の会期で開かれました。

今定例会は、平成25年度一般会計補正予算(第2号)や国民保護協議会条例の制定のほか、はごろも幼稚園園舎新築工事(建築)請負契約を含む30件にわたる議案等が審議され、20名の議員による一般質問も行われました。

6月定例会主な
議案の審議経過一般会計補正予算
(第二号) 可決

予算内容は、主に基地返還跡地転用推進事業費による特定駐留軍用地の土地購入費を含む、総額六億八千三百一十八万八千円を追加補正するものである。

委員会審査では、沖縄県女性海外セミナー補助金について、厳しい財政のもと、当初予算で計上されなかった経緯を踏まえ、今回再び計上された理由についての質疑に対し、今年度中に全ての補助金を再度精査するため、当該事業の九月実施に合わせて今回計上するに至ったとの答弁がなされた。

委員からは、補正予算は必要性のある事業が計上されるものであり、補助金の見直しにより次年度以降の予算計上も不確かな中、あえて補正予算とする予算編成のあり方また、補助金の補助団体のあり方や効果等についても指摘、提言等がなされた。

本会議の表決に当たっては、反対討論に対し、賛成討論がなされ、賛成多数（反対

七名）で原案可決された。

◎反対討論の要旨

一括交付金の約半額を普天間基地の土地取得のために活用されるべきである。また、女性の翼事業への補助復活は評価するが、全ての補助事業を見直すとのことであり、財政の計画性が欠落している。さらに、政策参与に関して、行政診断を行った企業の代表者が任用されており、企業に委ねる行政改革にならないか懸念される。

◎賛成討論の要旨

普天間基地跡地開発に向けての土地購入費は、計画している用地買収事業を進めるため、将来を見据えた上での事業である。また、女性の翼事業への補助復活は、事業目的を再度検証する中で実績が評価されたものである。さらに、新たに任用された政策参与は、行財政改革をより一層推進するため必要である。

国民保護法に関連する
条例の制定 可決

議案内容は、国民保護法の規定に基づき、国民保護協議会、対策本部及び緊急対策本部の設置に関し、必要な事項を定めるものである。

委員会審査では、武力攻撃事象等について、現行の地域防災計画の中で対処できない

かとの質疑がなされ、昨今の近隣国の状況を踏まえ、国及び県からは対処できないとして早急に国民保護計画を策定するよう指導があるとの説明がなされた。

そのほか条例制定のおくれに伴う不利益の有無など、多くの質疑、提言等がなされた。

本会議の表決に当たっては、反対討論に対し、賛成討論がなされ、三名退場のもと、賛成多数（反対七名）で原案可決された。

◎反対討論の要旨

武力攻撃等を想定した国民保護計画を策定する前に、米軍基地の撤去により有事を起こさせない政策に努めるべきである。

◎賛成討論の要旨

頻発している領空・領海侵犯等の不測の事態へ対応するため、普天間飛行場の早期閉鎖・返還への訴えとあわせて市民の生命と財産を守るために必要な法整備である。

水と緑のまちづくり
基金条例の廃止 可決

議案の内容は、平成二年にふるさと創生資金として各市

町村に一億円の交付があり、本市では都市緑化推進を図ることを目的に基金を創設し、運用を行っていたが、厳しい財政状況の中、基金を一般財源化し、効率的な資金の活用

を行ったため、基金条例を廃止したいとの内容である。

委員会審査では、基金を廃止する必要性及び代替事業の有無について質疑がなされ、今年度から海浜公園等は指定管理者による管理をしており、基金の運用収益における公園緑化推進事業が重複していることもあり、基金を廃止し、委託料に充当したいとの説明がなされた。また、グリーンコミュニケーション事業とし

て一括交付金を充当したいとの答弁もなされた。

本会議の表決に当たっては、反対討論に対し、賛成討論がなされ、賛成多数（反対七名）で原案可決された。

◎反対討論の要旨

一般財源化による、事業計画や予算の見通しが見えない。また、利息を活用し、さらに緑化事業を推進すべきである。

◎賛成討論の要旨

基金廃止後も一括交付金を活用した緑化事業が継続され、また、基金の運用目的に沿った指定管理費の支出であり、行財政改革を推進する上で必要がある。

MV-22 オスプレイの普天間飛行場への配備
及び米軍ヘリ墜落事故に対する抗議決議

去る8月3日、追加配備予定のMV-22オスプレイ12機のうち2機が岩国基地から普天間飛行場に飛来した。さらに残り10機の移動が近日中になされるとの状況下で、8月5日午後4時ごろ、米軍キャンプ・ハンセン内の山中に、嘉手納基地所属のHH-60救難ヘリコプター1機が墜落炎上し、乗員3名が負傷、1名の遺体が発見された。今回の事故は、民間地域からわずか2キロの地点で起こっており、一歩間違えば大惨事を引き起こしかねないものであり、2004年に起きた沖縄国際大学への米軍ヘリ墜落炎上事故の大きな恐怖を思い起こさせるとともに、ことし5月のF-15戦闘機の墜落事故など、相次いで起こる米軍機の墜落事故に対し、市民・県民の不安と怒りは頂点に達している。

今回の墜落事故を受け、残り10機のオスプレイの追加配備が延期されたが、事故原因が究明されない中、わずか7日後の8月12日に9機が強行配備された。昨年10月の配備以降、日米間で合意した運用ルールや騒音防止協定に違反する飛行訓練が多数目撃されているにもかかわらず、日米両政府は「明確な違反は確認されていない」、「合意事項を遵守している」との見解であり、甚だ遺憾である。

また、オスプレイは開発段階からその安全性等の問題が指摘され、米国内で相次いで墜落事故を起こしており、その事故原因についても十分な説明がなされていない。さらに、これまでオスプレイの配備反対を訴え続けた県民意思を無視する形で強行配備することは、市民・県民を愚弄するものであり、基地負担の軽減に逆行することに対し、強い憤りを覚えるものである。

本来、普天間飛行場を移設するという日米両政府の合意は、同飛行場の危険性の除去が原点であり、17年もの間その危険性が放置され続けてきた宜野湾市民にとって、昨年10月から強行配備されたMV-22オスプレイに加え、さらなる基地機能の強化及び固定化につながる今回の追加配備は、いかなる方策を講じようとも、断じて容認することはできない。

よって、本市議会は、普天間飛行場の極めて危険な実情にかんがみ、市民・県民の生命及び財産並びに安全・安心な生活を守る立場から、日米両政府に対し、下記事項について強く要求する。

記

1. 今回のヘリ墜落事故原因の徹底究明及び公表を行うこと。
2. すべての米軍機の一斉点検及び整備を行い、実効性のある防止策を講じること。
3. MV-22オスプレイを即時撤去すること。
4. 普天間飛行場を即時閉鎖し、早期返還を実現すること。

以上、決議する。
平成25年8月14日

沖縄県宜野湾市議会

今定例会における契約案件一覧

契約名	契約相手方	契約金額(円)
はごろも幼稚園園舎新築工事(建築)	誠和建設株式会社・ウイトコインダストリー株式会社JV	203,569,537
大山7号橋梁上部工工事	株式会社沢建設・株式会社大友工業JV	237,728,793

【答弁者】

○市 長 佐賀真	○副市 長 松川 正 則
○教 育 長 玉 城 勝 秀	○水道事業管理者 外 間 伸 儀
○総務部長 宮 城 聡	○企画部長 和 田 敬 悟
○基地区域政策部長 比 嘉 秀 夫	○福祉推進部長 大 屋 孝 夫
○健康推進部長 玉 那 覇 豊 子	○市民経済部長 宮 城 豊 信
○建設部長 黒 澤 伸 行	○教育部長 玉 那 覇 清
○指導部長 石 川 正 信	○消防長 米 須 清 一
○会計管理者 國 吉 秀 子	

一 般 質 問

今定例会は、20名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありましたが、紙面の都合上簡潔に掲載いたします。
詳しい内容は、市議会会議録を自治会事務所や議会事務局に保管しています。さらに、市のホームページにも掲載いたしますので御利用ください。

地域ケア会議 及び地域包括 ケアシステム について



岸本 一徳 議員

○議員 介護支援専門員連絡会の開催状況について、お聞きしたい。

◎健康推進部長 同連絡会において、医師を講師として招き、認知症や在宅ケアに関する勉強会等を行っており、ケアプラン作成能力の向上に寄与しているものと思われる。

○議員 介護予防や認定率を低く抑える効果がある対策につながる地域ケア会議の位置づけ及び開催についての見解を伺いたい。

◎健康推進部長 地域包括支援ネットワーク構築に向け、今年度に運営方針を定め、年2回の開催に努めていきたい。

○議員 地域包括ケアシステムの構築は、平成二十六年度までになされるのか伺いたい。

◎健康推進部長 当システムについては、二〇二五年度までの取り組みであり、現時点では研究の段階である。

○議員 地域包括ケアシステム確立に向け、地域ケア会議の設置が重要であるため、早期の取り組みをお願いしたい。

一括交付金を 活用した市民 提案事業制度 について



宮城 司 議員

○議員 平成二十五年五月に市民提案事業制度説明会が開催されたが、当日の参加者数及び市民からの提案があったのかどうか伺いたい。

◎企画部長 宜野湾市国際交流協会等、市内各種団体を初め、NPO法人及び個人を含め、総勢三十六名の参加があり、市民からの正式な提案はまだないといった状況である。

○議員 市民協働事業の実施

新たな自治会 事務所の整備 方針について



森田 進 議員

○議員 防衛施設周辺整備統合事業における補助、学習等供用施設整備事業における補助の相違点及び当該統合事業の具体的な事業認可時期について伺いたい。

◎企画部長 基本的に制度の違いはなく、統合事業においては定率補助、学供整備事業においては、定額補助となっている。認可時期については、防衛省と協議中であり、まだ

に当たり、市から市民へ提案し、協働を呼びかける事が重要だが、協働のあり方についてどのように考えているのか。

◎企画部長 今年度から企画部に市民協働推進課を設け、協働のあり方や行政運営の仕組み等も研究し、市民との協働を強力に推進していきたい。

○議員 研修会開催や手引き等の作成は行っているのか。

◎企画部長 明確な指針等はないが、今後、市民協働研究会等を定期的に開催したい。

○議員 本市がリーダーとなつて、市民協働を推進していただきたい。

確定していない状況である。

○議員 統合事業においては、補助率七五％、予算十億円を上限としているが、用地費等全て含まれているのか。

◎企画部長 上大謝名学供施設及び公園については、用地費も含む形で認められている。

○議員 定率補助である統合事業を活用すれば、自治会の負担軽減につながるが、予算の獲得は可能なのか。

◎企画部長 防衛省等に積極的に働きかけていきたい。

○議員 自治会の負担軽減のため、説明会の開催等も含め、取り組んでいただきたい。

市道宜野湾 6、7号の道路 整備について



宮城 克 議員

○議員 市道宜野湾六号及び七号において、宜野湾十一号が開通しないがために、道路の混雑及び子供たちに対する危険を及ぼしており、三月議会にて今年度中に歩道のカラー舗装及び側溝整備を行うとの答弁があったが、具体的な整備時期について伺いたい。

◎建設部長 歩道のカラー舗装については、側溝の音鳴りを改善した後の対応となり、

今後検討していきたい。

○議員 前回の三月議会において、今年度に整備予定との答弁も受けている。実際に今年度中に整備を行うのか、再度お聞きしたい。

◎建設部長 側溝の音鳴りの対応が済み次第、今年度中に行つことが可能であれば、カラー舗装による歩道の整備を行いたい。

○議員 今年度中に当該側溝の音鳴りの改善をし、次年度の概算要求を行つ中で、カラー舗装による歩道の確保を行い、交通安全対策を図っていただくことを強く要請する。



歩道及び側溝の整備が求められている市道宜野湾6号



大謝名小学校内の観察の池

小の池の 名大謝の 観察水源 確保について



比嘉憲康 議員

◎議員 当該観察の池は、当初は水も豊富で、湧き水を生かした自然に近い形のせせらぎ池であったが、二年ほど前から急に水量が激減している。今後、水源確保に向け、どのように取り組んでいくのか。

◎教育部長 大謝名小学校に隣接する市指定文化財の大謝名メーヌカーは水量が豊富であり、地形的にも維持管理が容易な自然流下方式で取水が

可能な位置にあり、メーヌカーからの取水により改善する方向で検討してまいりたい。

◎議員 大謝名メーヌカーの景観を乱さないように、地下に流れている水源を調査して、そこから自然流水でできるような形での整備が必要と考える。それが確保できなければまた別の方策を、専門家も交えて検討する必要があると考えるが、いかがか。

◎教育部長 関係機関とも調整しながら早目に進めてまいりたい。

◎議員 ぜひ早急に対応していただきたい。

前中学校数 通りの街路樹 について



宮城勝子 議員

◎議員 市道真栄原四三号沿いに植えられている松並木が現在枯れているが、何本枯れ、また、その理由も伺いたい。

◎建設部長 現在確認している枯れた松は、約五十本であり、要因は、相次ぐ台風の影響によるものと考えている。

◎議員 松の剪定についてもなぜ剪定する必要があるのか、時期も伺いたい。

◎建設部長 剪定は台風前の

七月末から八月中旬に実施し、地域の要請や台風による二次被害を防ぐため、樹木管理の点から行ったものである。

◎議員 枯死松は放っておくとシロアリが巣をつくり、周辺住宅にも悪影響を及ぼすので、早急に撤去すべきだが、その後の植栽予定はあるのか。

◎建設部長 撤去後は、地域の皆様方に相談をしながら、植栽をしていく考えである。

◎議員 この道路は、学園通りとして雰囲気のある通りでしたので、ぜひ、枯死松を早急に撤去し、緑のあるきれいな通りにしてもらいたい。

飛行場 間まちづくり 普天間 周辺事業について



呉 屋 等 議員

◎議員 当該事業の今年度の取り組みについて伺いたい。

◎企画部長 権利者や地域住民、商店街の方々と意見交換会や懇談会等を数多く開催し、せんだって政府発表があった西普天間住宅地区の跡地利用とも整合を図りつつ、次年度の実施設計につなげていきたいと考えている。

◎議員 いよいよ動き出すものと大変期待をしている。事

枯れ葉剤の 調査等について



桃原 功 議員

◎議員 以前に、枯れ葉剤投棄の可能性がある返還跡地及び基地内全てに対し土壌調査をすべきだと提案したが、その後、県あるいは国に対してどのような要求をしたのか。

◎基地政策部長 軍転協で枯れ葉剤の使用に関する調査を政府に要請したところ、枯れ葉剤を沖縄に持ち込んだことを示す資料は確認できなかったとの回答を得たが、跡地利

用あるいは環境汚染の観点から引き続き県や関係市町村と連携し、政府による調査の実施、説明を求めてまいりたい。

◎議員 返還跡地の原状回復に関するルールづくりを国に対して要求すべきだと考えるが、いかがか。

◎基地政策部長 国が土壌汚染、水質汚濁等の支障除去措置を講ずると法律で明記していることから、原状回復については、国の責務で取り組むものと認識している。

◎議員 国にもっと責任を持つよう本市としても強く要求していただきたい。



枯れ葉剤投棄が懸念されるキャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)

人材交流センター めびき前道路等の 整備について



我如古 盛英 議員

◎議員 当該道路整備の今後の取り組みについて伺いたい。

◎建設部長 当該道路は人材育成交流センターめびきのアクセス道路であり、以前より交通量が増加していることや、一部で幅員の狭小な箇所があり、車両のすれ違いが困難であることも認識している。道路整備を行うに当たり、まずは概略設計を行い、路線の最適案を検討してまいりたい。

◎議員 整備を進めるに当たっては、財源が重要と考えており、ぜひ補助金の活用を検討していただきたい。また、概略設計も実施されることから、市の政策事業として進めていただきたいが、いかがか。

◎建設部長 市の財源では負担が大きく厳しいことから、県の担当部署とも調整を行い補助金の活用も検討してまいりたい。また、事業期間は三年から四年を予想しており、今後、事業化に向けて進めてまいりたい。

◎議員 ぜひ事業化に向けた取り組みをお願いしたい。

認可外保育園 の防音対策について



上地 安之 議員

◎議員 防音工事指定地域に認可外保育園が何園配置されているのか、伺いたい。

◎福祉推進部長 本市には認可外保育園が三十八園あるが、そのうち二十一園が防音工事指定地域にあり、八百三名の園児が在籍している。

◎議員 嘉手納町では認可外保育園に対し、騒音による保育活動への影響や防音工事助成の必要性等について、騒音

被害の実態に関するアンケート調査を実施しており、本市においても同様の実態調査の実施に乗り出すべきだと考えるが、いかがか。

◎福祉推進部長 本市ではまだ実態に関するアンケート調査の実施を行っていないが、宜野湾市私立保育園連絡協議会において防音工事助成の要請を検討しており、現在要請方法等について本市の担当課と調整をしている。

◎議員 行政を中心として認可外保育園が防音工事の助成対象となるように働きかけをお願いしたい。

佐真下第二 土地区画整理 事業の進捗について



平良 眞一 議員

◎議員 佐真下第一地区のメーン道路である湧橋線の県道への取りつけについて、進捗状況を伺いたい。

◎建設部長 県道取りつけに係る移転補償の状況は、工作物等の補償が一件残っており、今年度十月までには移転補償を完了し、十一月から道路工事に着手したいと考えている。また、県道の取りつけ工事についても、道路管理者と施工

協議が済み次第、工事を進めていきたい。

◎議員 湧橋線の県道側の供用開始はいつごろになるのか、また、公安委員会との調整はどうなっているのか。

◎建設部長 供用開始時期については、工事のスケジュールや公安委員会との調整を考慮して、平成二十六年六月ごろを見込んでいます。

◎議員 平成二十六年二、三月ごろにはサンエーがオープンするとの話もあり、交通渋滞が懸念されるため、湧橋線の供用開始が早目にできるように取り組んでもらいたい。



早目の供用開始が要望されている湧橋線

福祉用具購入 等の支払い 方法について



玉元 一恵 議員

◎議員 福祉用具購入や住宅改修工事の支払い方法について、立てかえ償還払いから受領委任払いにしていたかどうか、提案したが、その後の進捗状況をお伺いしたい。

◎健康推進部長 住宅改修費及び福祉用具購入費を直接事業所に支払う受領委任払いについては、実施に向けて取り組んでいるところであり、また、福祉用具購入費に関して

は、県内で実施している市町村がなく、全国で実施している市町村を参考に調査研究を行い、実施要綱等を整備してまいりたい。

◎議員 本市が先駆けて福祉用具購入費の受領委任払いについて取り組んでいたことが、いつごろ実施可能か。

◎健康推進部長 今後、実施要綱やシステムの整備、事業所に対する説明会の開催などを進め、今年度内には実施していきたいと考えている。

◎議員 事業者の資質向上にもつながるので、ぜひ実施に向け、頑張ってください。

長田区公民館 の建設について



米須 清正 議員

◎議員 長田区公民館の建設は、学習等供用施設の補助メニューを受けられないとのことだが、今後どのような補助メニューで建設を検討されているのか、伺いたい。

◎市民経済部長 コミュニティ供用施設という別の補助メニューを使い、整備を進められるよう取り組んでいるところである。

◎議員 本市では初めて「ミ

ユニティ供用施設補助事業を活用するということなので、早目にコミュニティ供用施設整備の要綱を作成し、進めていただきたいが、いかがか。

◎市民経済部長 今回新たにコミュニティ供用施設での整備になるので、早急に要綱の整備を行ってまいりたい。

◎議員 自治会の負担軽減のためにいろいろと対策を考慮頑張っていることがわかった。今後も早目にコミュニティ供用施設整備要綱を作成し、長田区民の方々へ内容の説明会を開いていただくようお願いしたい。



大雨により護岸が崩壊した宇地泊川(5月28日時点)

宇地泊川の護岸崩壊について

知念吉男 議員



◎議員 当該護岸は三月にひびが入っているのが見つかり、四月八日には地域住民から市に連絡がなされ、その後五月二十三日の大雨で二十五メートルにわたって崩れた。この間、市当局はどのような対応をされたのか伺いたい。

◎建設部長 現場は県が管理している河川であり、県へ報告し、その後、県において危険箇所へのカラーコーン設置

による安全対策がなされている。また、県と市で地域住民への報告も行っている。

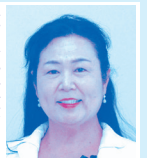
◎議員 当該河川は二十年前にも氾濫して、付近の駐車場に浸水被害を及ぼした経緯があり、今回の修復とあわせて抜本的な改修も県へ要請するべきと考えるが、いかがか。

◎建設部長 今回の護岸崩壊を受けて、早急な対策と再発防止をしていただくために五月三十日に県へ要請書を提出している。

◎議員 住民の安心・安全のため、県と連携して修復に取り組んでいただきたい。

男女共同参画支援センターの進捗状況について

屋良千枝美 議員



◎議員 当該施設の建設予算及び規模等に関する概要を伺いたい。

◎企画部長 当整備事業は委託料一億七千五百五十万円、工事請負費二億百三十一万七千円を予算計上し、四月には一括交付金一億七千五百五十万二千円の交付決定を受けている。また、建設規模は鉄筋コンクリート三階建て延べ面積約五百平米であり、

工期は平成二十六年二月十四日までとなっており、平成二十六年四月の供用開始を予定している。

◎議員 施設完成に伴い、多くの駐車場の確保も必要になると思いますが、どのようにお考えか。

◎企画部長 県の担当部署とも調整を図りながら、整備をしたいと考えているが、近隣に土地がない状況であるため、鋭意頑張つて土地を探してまいりたい。

◎議員 施設完成までに、駐車場の確保、進入路の整備を早急にお願したい。

空き家等の管理に関する条例制定について

大城政利 議員



◎議員 全国的にも空き家率が増加傾向にある中、放置された空き家は、ごみの不法投棄、景観悪化など問題になっている。この問題に関して本市ではどのように調査をされ、今後どう進めていくのか伺いたい。

◎市民経済部長 高齢化の進展、社会状況の変化に伴い、今後課題として浮かび上がってくるものと認識してお

り、空き家等の対策については、環境衛生の面だけではなく、防災、防犯の面からも必要である。今後は、関係機関、部署と合同で実態調査をまず行つて、本市の課題を抽出し、その後条例の制定に向けて検討していきたい。

◎議員 既に条例を制定している市においては、周辺地域から苦情があった場合、市が所有者へ指導や助言ができるなど、効果を出している。ぜひ本市においても、早目に調査を行い、実態を把握した上で条例制定に向けて取り組んでいただきたい。

野高クシヌカー前交差点の信号機改善について

桃原 朗 議員



◎議員 当該交差点の信号機が歩車分離方式に変更された経緯について伺いたい。

◎市民経済部長 宜野湾署より、当該方式は巻き込み事故防止に有効とされ、早期整備が望まれる中、今回の設置に至ったとの報告を受けている。

◎議員 変更に当たり、地域説明会は行つたのか。また交通指導員への周知は必要と考えるが、いかがか。



歩車分離式信号機が設置されている野高クシヌカー前交差点

◎市民経済部長 宜野湾署からは、地域説明会は実施しておらず、ホームページで周知を行っているとの報告を受けている。市としても市報等による周知や教育委員会への情報提供も図ってまいりたい。

◎議員 当該変更に伴い、交通渋滞が発生しているとの地域の声もある。ぜひ現地に赴き、どのような弊害があるのか調査もお願いしたい。

◎市民経済部長 宜野湾署と連携し、どのような対策かとれるか検討してまいりたい。

◎議員 ぜひ、しっかりと対応していただきたい。

公共火葬場の建設について



佐喜真 進 議員

【議員】 去る三月定例会以降の公共火葬場建設事業の進捗状況について伺いたい。

【企画部長】 五月に副市町村長で構成される建設検討委員会を開催し、計画候補地十五カ所の評価について議論を行い、六月には有識者及び住民代表十三名において構成される計画地選定委員会を開催している。

【議員】 計画地選定委員会に

中原進入路の返還及び道路整備について



仲村春松 議員

【議員】 当該道路は平成二十一年に道路改良事業の予定が出されたが、当時の地権者の人数、また同意の有無について伺いたい。

【建設部長】 道路整備が予定された当時、地権者の人数は九名で、道路用地として使用する計画への同意を地権者全員からいただいている。
【議員】 地権者全員から同意を得て、また当該事業に対し

よる計画候補地十五カ所の評価方法についてお聞きしたい。

【企画部長】 所要面積の確保や交通便利性等客観的な判断基準を設け、数値に置きかえての採点方式を採用しており、おおむね上位三候補地に絞られてきている。

【議員】 次回の委員会には候補地が決定するのか。

【企画部長】 計画地選定委員会は、候補地を決定する機関ではなく、評価方法の妥当性を判断する機関であり、決定は建設検討委員会で行つ。

【議員】 一日も早く候補地が決定することを期待したい。

て具体的な計画を打ち出しながらも事業が進んでいない状況にある。当該事業を一刻も早く進めるためには、市長による政治折衝が必要であると考えるが、いかがか。

【市長】 中原進入路の件について防衛省と継続して交渉していく所存であり、また市道宜野湾十一号との関連もあるもので、早期に事業が進むよう全力を尽くして取り組んでまいりたい。

【議員】 市長を先頭に、建設部長、当局の関係者には当該事業が一刻も早く進展するよう頑張つていただきたい。

預かり保育事業の給食実施について



伊波一男 議員

【議員】 本市の各幼稚園における預かり保育の定員、利用人数及び昼食状況を伺いたい。

【指導部長】 市内八幼稚園で定員を二十人に限定して行っており、利用人数は合計で百三十六人である。また、昼食については、実施要領に基づき、弁当持参としている。

【議員】 預かり保育で定員割れをしている園がいくつかあるが、その要因として、弁当持参のため、保護者の負担が大きいのではないかと。思つて負担軽減のためにも、給食の導入等を検討すべきだと思うが、どのようにお考えか。

【指導部長】 教育委員会としても、預かり保育の昼食のあり方について、これまで多面的に調査研究してきており、今後は、弁当のよさを残しつつ、子育て支援の視点や保護者のニーズを踏まえ、ケータリングを導入する方向で検討してまいりたい。

【議員】 弁当持参は負担になっているとの声が多いため、ぜひ早目に進めてもらいたい。

議会改革に関する調査特別委員会

昨年の十二月定例会において設置されました議会改革に関する調査特別委員会では、議会機能の強化を図るとともに、市民に開かれた議会を目指すこと等を目的として、議会基本条例の策定及び議会改革に向けて必要な事項を調査、検討しています。

ついで、優先的に議論しているところでもあります。

- 【主な協議・検討事項】
- ① 政務活動費・費用弁償
 - ② 議員定数の適正化
 - ③ 議会基本条例
 - ④ 本会議の映像配信等

現在、①政務活動費・費用弁償、②議員定数の適正化に

◆政務活動費とは？

議員の調査、研究活動に必要な経費の一部を助成するもので、本市では、議員一人あたり月額1万円を交付しています。

◆費用弁償とは？

議員の本会議等の出席に際し、職務の執行等に要した経費を償うため支給されており、本市では、1日につき1,500円を支給しています。



有識者による議会改革に関する研修会(8月6日開催)

台湾友好議連

四月十一日、本市と台湾の友好・親善交流を図り促進することを目的に、全市議会議員により、台湾友好議員連盟が設立され、同日、市長を初め、台北中日経済文化代表処那覇分処長ほか各関係団体の来賓出席のもと、設立総会が開催されました。

また、議連メンバー十五名は、七月三十日から八月一日の日程で台湾の彰化県、員林鎮を訪問し、友好・交流を兼ねて視察を行いました。



台湾の彰化県政府を表敬訪問

第377回宜野湾市議会定例会付議事件一覧及びその結果		
事件番号	件 名	議決結果
議案第19号	宜野湾市国民保護協議会条例の制定について	原案可決(賛成多数)
議案第20号	宜野湾市国民保護対策本部及び宜野湾市緊急対処事態対策本部条例の制定について	原案可決(賛成多数)
議案第29号	宜野湾市水と緑のまちづくり基金条例を廃止する条例について	原案可決(賛成多数)
議案第52号	平成25年度宜野湾市一般会計補正予算(第2号)	原案可決(賛成多数)
議案第53号	平成25年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第54号	宜野湾市税条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第55号	はごろも幼稚園園舎新築工事(建築)請負契約について	同意(全会一致)
議案第56号	大山7号橋梁上部工工事請負契約について	同意(全会一致)
議案第57号	嘉数小学校屋内運動場増改築工事(建築)の議決内容の一部変更について	同意(全会一致)
議案第58号	真志喜中学校屋内運動場・武道場増改築工事(建築)の議決内容の一部変更について	同意(全会一致)
議案第59号	字の区域の変更及び町(丁目)の新設について	原案可決(全会一致)
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	答申可決(全会一致)
決議案第21号	普天間飛行場への米軍機等の配備計画に対する抗議決議	原案可決(全会一致)
決議案第22号	F-15戦闘機の墜落事故に対する抗議決議	原案可決(全会一致)
決議案第23号	米兵による器物損壊事件に対する抗議決議	原案可決(全会一致)
決議案第24号	日本維新の会共同代表橋下徹大阪市長の発言に対する抗議決議	原案可決(賛成多数)
意見書第22号	普天間飛行場への米軍機等の配備計画に関する意見書	原案可決(全会一致)
意見書第23号	F-15戦闘機の墜落事故に関する意見書	原案可決(全会一致)
意見書第24号	米兵による器物損壊事件に関する意見書	原案可決(全会一致)
意見書第25号	民間戦争被害者を救済する「新たな援護法」の制定を求める意見書	原案可決(全会一致)
報告第1号	平成24年度宜野湾市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報 告
報告第2号	平成24年度宜野湾市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報 告
報告第3号	平成24年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報 告
報告第4号	平成24年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報 告
報告第5号	平成24年度宜野湾市水道事業会計予算繰越計算書について	報 告
報告第6号	平成25年度宜野湾市土地開発公社事業計画、予算及び資金計画について	報 告
報告第7号	平成24年度株式会社ティ・エム・オ普天間事業報告及び決算報告について	報 告
報告第8号	平成25年度株式会社ティ・エム・オ普天間事業計画及び収支予算について	報 告
陳情第49号	民間戦争被害者を救済する「新たな援護法」の制定を求める意見書について	採 択(全会一致)
陳情第56号	「B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書」採択へのお願い	閉会中の継続審査
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第20号 宜野湾市入札制度に関する見直しについての要請 陳情第38号 住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情 陳情第45号 女性の人材育成と積極的登用について 陳情第55号 米軍普天間基地に関する要請	承 認 (総務常任委員会)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第31号 宜野湾市発注に係る公共工事に使用される生コンクリートについての「官公需適格組合」並びに「品質管理監査合格工場」への優先使用に関する陳情 陳情第46号 地球温暖化対策に関する「地方財源の確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書採択について 陳情第52号 トロピカルビーチ東リーフの活用に関する請願	承 認 (経済建設常任委員会)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第19号 離婚後の親子の面会交流に関する法整備と支援を求める意見書の提出について 陳情第21号 就学援助制度の周知・拡充を求める陳情 陳情第28号 「幼稚園・就学前教育」準義務教育化・無償化要請制度設計の意見書提出に関する陳情 陳情第29号 「30名以下学級」早期完全実現に関する陳情 陳情第30号 学校給食センター移設統合反対に関する緊急要請 陳情第39号 「子ども・子育て新システム」に基づく保育制度改革に反対する意見書提出を求める陳情 陳情第41号 「こころの健康を守り推進する基本法」の制定を求める意見書採択のお願い 陳情第50号 平成25年度福祉施策及び予算の充実について 陳情第51号 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情 陳情第53号 スクールソーシャルワーカー活用事業に関する要望 陳情第56号 「B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書」採択へのお願い	承 認 (福祉教育常任委員会)

第376回宜野湾市議会臨時会付議事件一覧		
事件番号	件 名	議決結果
議案第48号	平成25年度一般会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第49号	平成25年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第50号	平成25年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第51号	道路施設における事故に関する和解等について	同意(全会一致)

第378回宜野湾市議会臨時会付議事件一覧		
事件番号	件 名	議決結果
報告第9号	傷害事故による和解等に関する専決処分の報告について	報 告
報告第10号	交通事故による和解等に関する専決処分の報告について	報 告
決議案第25号	MV-22オスプレイの普天間飛行場への配備及び米軍ヘリ墜落事故に対する抗議決議	原案可決(全会一致)
意見書第26号	MV-22オスプレイの普天間飛行場への配備及び米軍ヘリ墜落事故に関する意見書	原案可決(全会一致)